

# SNS 上での言語伝達について

国語班 佐藤 裕晃  
中村 藍児  
田中 凌也  
橋本 圭司

## 1. はじめに

私たちははじめに、普段、私たち高校生の身近にある言語伝達手段である SNS (Social Networking Service) 上で様々なトラブルが多発しているということに関心を持った。そこで、私たちはトラブルの原因に SNS 上で正しい言語伝達が行われていないのではないかと思い、わかりやすい文章とはどのような文章であるのか調べることにした。さらにわかりやすい文章は好感が持てる文章なのではないかと仮説を立て、好感が持てる文章がどのような文章かも調べることにした。

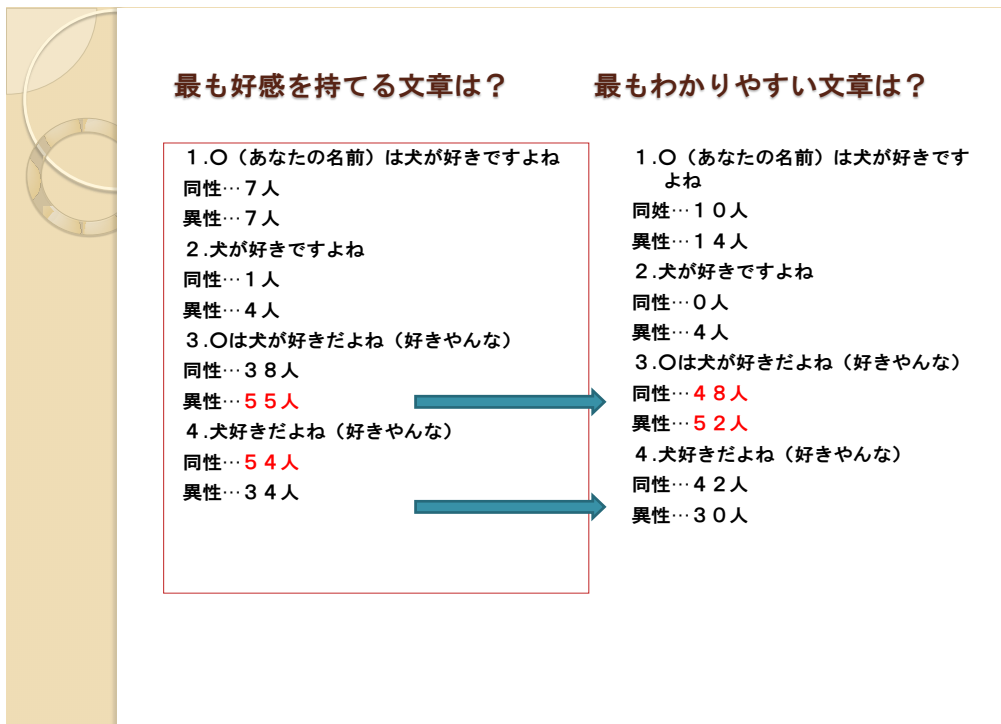
## 2. 研究の過程

わかりやすい文章とはどのような文章か考えて例文を用意した。そして逆にわかりにくい文章とはどのような文章かを参考に考え例文を用意した。次に好感が持てる文章を考え同様に好感が持てない文章も考え例文を用意した。また研究の過程で、高校生間での SNS 上でのやりとりで文末に「笑」や「w」といった文字が多用されていることに気づき、その効果について気になったので調べることにした。これらの内容をアンケートにした。

## 3. アンケート内容

SNS 上でのわかりやすい文章とは、実際に文章で説明する際にわかりやすいとされている丁寧で硬い表現に文章、例えば、語尾が『です/ます調』であったり『○○が、○○は』のような助詞をしっかりと含んだ形式的な表現よりも、助詞が抜けていたりしている日常会話で用いられる表現が用いられている文章であると考え、さらに『相手の名前』を用いることでよりわかりやすく、好感が持てる文章だと思い、以下の例文を作ってアンケートを採った。

- ア. ○○(あなたの名前)は犬が好きですよ
- イ. 犬が好きですよ
- ウ. ○○は犬が好きだよ(好きやんな)
- エ. 犬好きだよ(好きやんな)



#### 4. アンケート結果・考察

一番やわらかい表現＝ですますではなくできるだけ言葉を省いた表現が一番わかりやすいと考えていたが相手の名前や助詞をいれた方が好感度、わかりやすさ共に一番柔らかい表現を若干上回っていた。また、笑とwwを比較しても両者に顕著な差は見られなかった。相手の名前を入れた方がよいことや柔らかい表現が好まれることがわかったが、○○犬好きだよ、といった、名前＋やわらかい表現、の選択肢がなかったの、これを加えて再度アンケートを採っても良かったのではないかな。

#### 5. まとめ

今回、「SNSで最強になる方法」について研究をしたわけだが、僕たち自身その結果に驚くことが多々あった。例えば、アンケート結果より、送信相手が同性である場合において最も好感を持てる文章と最も理解しやすい文章、それぞれの表現方法に違いが生じたことである。身近なジャンル「SNS」を調査しただけでも、このような驚くべき発見をでき素直に喜びを感じることができた。

これからの社会では、よりSNSで人とつながる機会がふえるだろう。そこで、相手の性格、おかれている状況を考えたSNSでの表現が、円滑で楽しいコミュニケーションを生みだし、良い人間関係を築く上で重要であると感じた。

#### 6. 参考文献

SNS盛 恋と仕事で差をつける秘密テク 犬山 紙子